

令和5年度第1回「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」(SPOD)

事業評価委員会 議事概要

日 時：令和5年6月16日(金) 10:00～11:00

方 法：オンライン開催(Zoom)

出席者：(事業評価委員会委員)

北陸大学 杉森委員、広島経済大学 高野委員、大学コンソーシアム京都 伊勢戸委員
(SPOD関係者)

中井企画・実施統括者、吉田FD専門部会長、久保SD専門部会長
(SPOD事務局)

愛媛大学教育企画課 進藤TL、二宮部員

議 事：

1. 令和5年度～6年度における委員会構成員について

中井企画・実施統括者から資料1～3に基づき、本委員会の趣旨、構成員について説明があった。また、SPOD事業評価委員会要項第3条により議長を選出する必要がある旨説明後、議長に高野委員の推薦があり、異議なく了承された。

2. 令和5年度のSPOD事業計画について

中井企画・実施統括者から説明資料に基づき、令和5年度のSPOD事業計画について説明があった。また吉田FD専門部会長、久保SD専門部会長から、各専門部会の取組について説明資料、資料4～7に基づき併せて説明があった。

3. その他

出席者間で、SPODやSPODフォーラムについて意見交換を行った。また中井企画・実施統括者から各委員に、SPODフォーラムへの視察について依頼があった。

令和5年度第1回 四国地区大学教職員能力開発ネットワーク 事業評価委員会

1

2. SPODの将来構想 (令和4年度～9年度)

【全体方針】

※令和3年度総会にて決定

1. FD・SDの地域ネットワークのリーダーとしてのプレゼンスを維持する
 - ・プログラムの見直し及び新規開発に取り組むことで、FD・SDを一層発展させる
 - ・活動の内容と成果を広く発信していく
2. SPODフォーラムを国内最高のFD・SDの機会にする
 - ・優れたFD・SDプログラムをフォーラムで提供する
 - ・ポスターセッションによって発信や交流の場を提供する
3. 対面研修では対面の特徴を活かした学習や交流の機会を提供する
 - ・対面ならではの参加型の学習を取り入れる
 - ・参加者間のネットワークづくりを促進する
4. 希望する時間と場所で学習できるオンデマンド研修の機会を増加する
 - ・ニーズに合ったオンデマンドの教材を開発し提供する
 - ・オンデマンドの教材を活用してハイブリッド型の研修を増加する
5. 持続可能なSPODの組織体制を構築する
 - ・会議等の遠隔開催、書面開催を積極的に行う
 - ・刊行物は書類を減らし、ウェブサイトなどの情報提供を充実させる
 - ・事業予算の柔軟な運用などによって安定的な財政基盤を維持する

3

I. SPOD事業の概要 参考資料 1

四国地区の高等教育機関が連携してネットワーク事業を展開することにより、域内のFD／SD事業の効率化、高度化、実質化を行うとともに、学生の豊かな学びと成長を支援する実践的力量をもった高等教育のプロフェッショナルを輩出し、教育の質の保証を図ることを目的に、**平成20年10月に設立**

- ・平成23年度から自主運営体制により事業を継続
- ・平成30年に設立10周年を迎え、**現在15年目**
- ・四国地区の高等教育機関35校が加盟
- ・FD・SDにおける地域間大学連携のモデル事業



2

SPODの将来構想

【FDの方針】

1. SPOD-FDマップ作成

- ・SPODにおけるFDプログラム（講師派遣プログラムを含む）のFDマップを作成し、プログラムの共有化、共同開発に活用する
- ・期間途中で更新することで、プログラムの整理や新規開発の指針として活用する

2. オンラインによるFDプログラムの共同開発

- ・大学を超えた新たな取組として、SPODコア校のFD担当者が共同でオンラインによるFDプログラムを開発、実施し、SPOD加盟校に提供する

3. 大学院生を対象としたプレFD開発

- ・大学院設置基準の改正に伴う取組として、共同でプログラムを開発し、共有する
- ・大学院生のニーズを把握し、プログラム開発に活かす

4. 分野別FDプログラム開発・FD担当者養成

- ・加盟校の文脈や専門分野に即した具体的で実効的なプログラムとするため、SPOD加盟校における分野別FDプログラムをコア校以外の加盟校の担当者も含めて共同で開発する
- ・学部や小規模大学においてFDを推進する担当者の育成、支援を行う

5. TA・SAを活用した教育の質向上

- ・TA・SAを適切に活用し、授業の可能性を広げ、学生の学習効果を高めるためのFDプログラム開発及びTA・SAの育成を行う

4 2

SPODの将来構想

【SDの方針】

1. オンラインによるSDプログラムの共同開発

- ・オンデマンド動画コンテンツを開発する
- ・既存のSDプログラムの一部または全部のオンライン化を検討および導入する

2. SDプログラムの体系再構築

- ・SPOD加盟校のニーズ調査に基づく新規プログラムを開発する
- ・既存のSDプログラムの内容の点検・評価および再構築を行う

3. SDプログラム修了者のフォローアップ体制の充実

- ・次世代リーダー養成ゼミナール修了生やSPOD-SDC取得者への研修や勉強会を実施する

4. 加盟校間のSDコミュニティ構築

- ・日常的な意見交換、定期的な勉強会（経営学や心理学など業務に活用可能な知識習得）の場を構築する

5. SDの内製化の推進と支援

- ・研修設計と評価に関するSDを充実させる
- ・SDの年間計画に関するコンサルティングを実施する

5

3. SPODの運営体制

SPOD役員名簿

（令和5年4月1日現在）

会長 仁科 弘重 愛媛大学長

副会長 河村 保彦 徳島大学長

副会長 笥 善行 香川大学長

副会長 櫻井 克年 高知大学長

監事 加野 芳正 香川短期大学長

監事 鈴木 康司 新居浜工業高等専門学校長

企画・実施統括者 中井 俊樹

愛媛大学教育・学生支援機構 教育企画室 教授

6

SPOD加盟校

【愛媛】13校

（大学⑦）
愛媛大学（国）、愛媛県立医療技術大学（公）
聖カタリナ大学（私）、松山大学（私）、松山東雲女子大学（私）
岡山理科大学獣医学部（私）、
人間環境大学松山看護学部・総合心理学部（私）
（短期大学④）
今治明德短期大学（私）、松山東雲短期大学（私）
松山短期大学（私）、聖カタリナ大学短期大学部（私）
（高等専門学校②）
新居浜工業高等専門学校（国）、弓削商船高等専門学校（国）

【香川】7校

（大学③）
香川大学（国）、香川県立保健医療大学（公）
高松大学（私）
※徳島文理大学香川キャンパス
（短期大学③）
香川短期大学（私）、高松短期大学（私）
せとうち観光専門職短期大学（私）
（高等専門学校①）
香川高等専門学校（国）

35校（四国地区の高等教育機関）が加盟
大学19※、短期大学11、高等専門学校5（令和5年4月現在）

※四国地区に一部の学部等を置く大学を含む。この場合、学部等単位での加盟となる。

【高知】7校

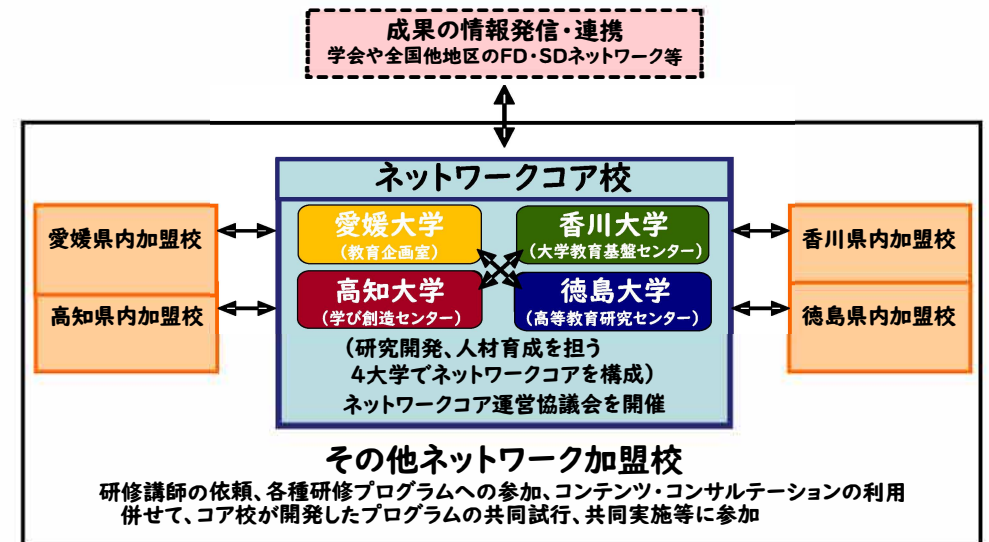
（大学⑤）
高知大学（国）、高知県立大学（公）
高知工科大学（公）、高知学国大学（私）
高知リハビリテーション専門職大学（私）
（短期大学①）
高知学国短期大学（私）
（高等専門学校①）
高知工業高等専門学校（国）

【徳島】8校

（大学④）
徳島大学（国）、鳴門教育大学（国）
四国大学（私）、徳島文理大学（私）
（短期大学③）
四国大学短期大学部（私）、徳島工業短期大学（私）
徳島文理大学短期大学部（私）
（高等専門学校①）
阿南工業高等専門学校（国）

7

ネットワーク運営体制



【四国地区大学教職員能力開発ネットワーク】

8 3

【連携内容】

① ネットワークコア、加盟校間での連携



② 加盟校相互での連携

研修講師派遣、先進事例実地調査、オンライン会議等を活用した情報交換等

9

4. 令和5年度事業計画

5. 事業評価委員会

SPODフォーラム視察

- ・フォーラムを視察の上、今後の運営に関するご意見をいただきたい
- ・旅費はSPOD負担
- ・プログラムの受講も可能(7/3正午～先行申込、7/5正午～通常申込)

事業評価委員会の開催

- ・第1回 令和5年6月16日(金) … 本日開催分
- ・第2回 令和6年3月開催予定 … 書面開催
事業評価シート作成

(参考) 令和6年度事業評価委員会の予定
・SPODフォーラムの視察(香川大学)
・事業評価委員会(対面開催・事業評価シート作成)

11

4. 令和5年度事業計画

1. SPOD共通事業

- ・SPODフォーラム2023【8/23～25】
- ・第19回大学教育カンファレンス in 徳島【12/26】
- ・SPOD内講師派遣プログラムの実施【計26回予定】
- ・情報提供・広報活動【HP上の動画掲載に今後注力】

2. FD事業

- ・FD担当者研修の実施【SPODフォーラム内で開催】
- ・新任教員研修の開発・実施
- ・教育業績記録(ティーチング・ポートフォリオ:TP)の実施
- ・その他各種FD研修の実施
- ・FDに関する調査研究

3. SD事業

- ・SD担当者研修の実施【SPODフォーラム内で開催】
- ・SDプログラムの体系的・段階的・継続的实施
- ・次世代リーダー養成ゼミナールの実施【年5回】
- ・SDに関する調査研究

4. SPOD運営

- ・ネットワークコア運営協議会(年6回予定)

10

SPODフォーラムの実施

共通事業

- ・スキルアップにつながる実践的プログラムを3日間で集中的に提供
- ・大学等の教職員の能力開発に役立つ多種多様なFD/SDプログラム及び組織を越えた持続的な相互交流・関係づくりの場を提供

「SPODフォーラム2023」(4年ぶりの対面開催)

【日時】 令和5年8月23日(水)～25日(金)

【場所】 愛媛大学城北キャンパス

【テーマ】 「未来を切り拓く力を育成する」

【プログラム数】 43プログラム(個別プログラム42、シンポジウム)、ポスターセッション

【対象】 大学、短大及び高等専門学校等の高等教育機関の教職員

【研修料】 SPOD加盟校教職員…無料、加盟校外の教職員…10,000円

【今年度からの取組事項】

- ・フォーラムの様子を撮影し、後日ダイジェスト動画をHPに掲載
- ・オンデマンド教材を用いた事前学習の導入
- ・一部プログラムについては、当日の録画内容をオンデマンド配信予定

12 4

「SPODフォーラム2022」

【日 時】 令和4年8月24日(水)～26日(金)

【方 法】 全面オンライン

【テーマ】 「変容する社会ニーズに応じた学びのあり方」

【申込者】 **581名(延べ1,492名)**

【プログラム数】 37プログラム

【事後全体アンケート】 ※フォーラム終了3週間後にWEB実施

- ・回答者の98.7%が「満足」と回答
- ・所属組織を越えた人脈作りについては、満足度が低い(43.8%)
(オンラインフォーラムの課題であり、引き続き対策を検討していく)

参考「SPODフォーラム2021以前」

・SPODフォーラム2021(全面オンライン)

参加者:572名(延べ1,753名) / テーマ:「New Normalの大学教育を考える」

・SPODフォーラム2020(開催中止)

・SPODフォーラム2019(対面・愛媛大学)

参加者:535名(延べ1,734名) / テーマ:「大学教育の組織力」

・SPODフォーラム2018(対面・香川大学)

参加者:463名(延べ1,590名) / テーマ:「教職員のミニマムエッセンシャルズを考える」13

令和5年度第1回「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」(SPOD)

事業評価委員会実施要項

(目的)

「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク（ネットワーク略称＝SPOD）」の趣旨や令和5年度の事業内容について評価委員に説明を行い、今後の事業評価に関するスケジュール等について理解を得ることを目的に実施する。

(主催)

四国地区大学教職員能力開発ネットワーク

(日程)

令和5年6月16日（金） 10:00～11:00

(方法)

Zoomによるオンライン開催

(主な議題)

令和5年度～令和6年度における委員会構成員について
令和5年度のSPOD事業計画について

(参加予定者)

SPOD事業評価委員会委員

杉森 公一 委員（北陸大学）

高野 修 委員（広島経済大学）

伊勢戸 康 委員（大学コンソーシアム京都）

SPOD関係者

中井 俊樹（企画・実施統括者）

吉田 博（FD専門部会長）

久保 秀二（SD専門部会長）

(事務担当者)

SPOD事務局（愛媛大学教育学生支援部教育企画課）

「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」

事業評価委員会名簿

任期：令和5年4月（各所属長の承認日） ～ 令和7年3月31日

杉森 公一 北陸大学 高等教育推進センター 教授

高野 修 広島経済大学 総務部長

伊勢戸 康 公益財団法人大学コンソーシアム京都 事務局長

（計3名 敬称略）

「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」(SPOD)
事業評価委員会要項

平成21年3月6日
ネットワークコア運営協議会決定

(設置)

第1条 四国地区大学教職員能力開発ネットワーク規約第11条の規定に基づき、四国地区大学教職員能力開発ネットワーク(以下「SPOD」という)に事業評価委員会(以下「評価委員会」という)を置く。

(目的)

第2条 評価委員会は、SPOD実施事業に対して評価を行い、もってSPOD実施事業の改善に資することを目的とする。

(組織及び運営)

第3条 評価委員会は、大学等におけるFD/SD活動に造詣が深い者をもって組織する。ただし、委員はSPOD加盟校以外の機関に所属する者とする。

2 前項の委員は、ネットワークコア運営協議会(以下、「運営協議会」という。)の議を経て、会長が委嘱する。

3 委員の任期は、2年とし、再任を妨げない。ただし、委員に欠員が生じた場合の後任者の任期は、前任者の残任期間とする。

4 委員会に議長を置き、委員の互選により選出する。議長に事故があるときは議長が予め指名する委員が、その職務を代行する。

5 委員会に関する事務は、代表校において処理する。

(評価方法)

第4条 評価委員会は、運営協議会が作成した実績報告書を基に、評価を行い、その結果を運営協議会に報告する。

(評価項目)

第5条 委員会は、次に掲げる事項について評価を行う。

(1) SPODの組織運営体制に係る事項

(2) SPODの行うFD事業に係る事項

(3) SPODの行うSD事業に係る事項

(評価の公表)

第6条 SPODは、評価結果をホームページ等を通じて公表する。

附 則

この要項は、平成21年3月6日から施行する。

附 則

この要項は、平成23年4月1日から施行する。

附 則

この要項は、平成25年4月1日から施行する。

SPOD フォーラム 2023



未来を切り拓く力を育成する

Shikoku Professional and Organizational Development Network in Higher Education



SPODフォーラムとは … 大学等の教職員が自らの能力開発のために役立つ、多種多様で質の高いFD/SDプログラムならびに組織を越えた持続的な相互交流・関係づくりの場を提供します。

日時・場所 2023年8/23 (水) ▶ 25 (金) 愛媛大学 城北キャンパス

主催 四国地区大学教職員能力開発ネットワーク (SPOD) / 愛媛大学

参加申込

SPOD加盟校の教職員限定受付 2023年6月19日(月)正午~6月30日(金)正午
一般受付(SPOD加盟校の方も申込可) 2023年7月5日(水)正午~7月20日(木)正午

※事前申込制
(先着順)

申込みはWEBから

<https://www.spod.ehime-u.ac.jp>

参加費

SPOD加盟校の教職員

無料

SPOD加盟校以外の教職員

10,000円

特徴

1 多彩な講師陣

先進的な教育改革で知られる大学のトップ、各大学のFDやSDの第一線で活躍する教職員やディベロッパー、職場の人材育成・能力開発分野で活躍するプロフェッショナルなど、多彩かつ魅力的な講師陣をそろえました。

特徴

2 職場で使える
実践型プログラム

グループワークを含む講義が数多く開催されます。参加者には、意見を出し合い知を共同で作り上げることが求められると同時に、職場ですぐに使える実践的なノウハウを持ち帰ることができます。

特徴

3 SDプログラムも
多数開講

SPODでは、FD同様にSDに力を入れており、他では体験できないプログラムを数多く開講しています。教育改善に関心のある多くの教職員の方の参加をお待ちしております。

参加者の声

- ・参加者との交流も大きな魅力の一つなので、コロナが落ち着いたら対面開催を希望します。
- ・同年代の職員と、同じような悩みや問題を共有でき、意見交換できたことが良かったです。
- ・シラバスで事前に内容を把握したうえで参加でき、講師の方々にも目的に沿った講座を展開していただき、各講座の内容が頭に入ってきたです。



愛媛大学城北キャンパス

駐車場はありませんので、公共交通機関のご利用をお願いします。

全体受付
愛大ミュージアム
1階アクティブ・
ラーニングス
スペース2へお越
しください。

【JR松山駅から】
伊予鉄道市内電車
環状線①(古町方面行き)
「赤十字病院前」下車
(松山市文京町3番)

愛媛大学は終日禁煙です。



開催スケジュール

●各プログラムのシラバスは、こちらからご確認ください。 <https://www.spod.ehime-u.ac.jp>

会場	A	B	C	D	E	F
教室	共通講義棟A(1階) 11講義室	共通講義棟A(2階) 21講義室	共通講義棟A(2階) 23講義室	共通講義棟A(3階) 31講義室	共通講義棟A(4階) 41講義室	共通講義棟A(4階) アクティブ・ラーニング・ルーム
1日目 8月23日(水)	1 10:00 ~ 12:00 2301A 所属大学での学習支援者の能力開発を考えよう 清水栄子 (追手門学院大学) 講義 150名	2301B 最新教職法令に基づく多様な履修相談対応事例 小野勝士 (龍谷大学) ワーク・講義 120名	2301C プロジェクトを成功に導くマネジメント手法 丸山智子 (愛媛大学) ワーク・講義 30名	2301D ルーブリック評価入門 俣野秀典 (高知大学) ワーク 40名	2301E 地方創生における合意形成 正本英紀 (愛媛大学) ワーク・講義 40名	2301F 新学部の構想を通して学ぶアイデアの伝え方 坂本規孝 (愛媛大学) ワーク・講義 30名
	2 13:00 ~ 15:00 2302A これだけは押さえておきたいオンライン授業の基礎 藤澤修平 (香川大学) 講義 150名	2302B パフォーマンス評価の設計 飯尾 健 (徳島大学) 講義 100名	2302C 事務系職員のための文書作成能力向上研修 坂本智香 (高知大学) 講義 30名	2302D 設置基準/設置手順入門ー組織改革と活性化 宮内卓也 (高知大学) ワーク・講義 32名	2302E ハラスメント予防のためのアサーション 井ノ崎敦子 (徳島大学) ワーク・講義 40名	2302F カリキュラムの授業科目数適正化のために 上月翔太 (愛媛大学) ワーク・講義 30名
	3 15:30 ~ 17:30 2303A 大学改革を理解するための大学設置基準解説 大津正知 (茨城大学) 講義 150名	2303B 研究戦略推進を支えるURA 矢吹命大 (横浜国立大学) 講義 120名	2303C 大学職員の業務における見直しと改善 藤本正己 (山口大学) 笹山明伸 (高知大学) ワーク・講義 30名	2303D 準正課教育プログラムの立ち上げ 山内一祥 (佐賀大学) 村田晋也 (愛媛大学) ワーク・講義 40名	2303E 「大学生のキャリアデザイン」研修の内製化 阿部光伸 (愛媛大学) ワーク・講義 40名	2303F 研修を組織の原動力とするための理論と実践 竹中喜一 (近畿大学) ワーク・講義 30名

2日目のB会場は愛大ミューズ2階(M21PC室)

2日目 8月24日(木)	1 10:00 ~ 12:00 トップリーダーセミナー 2401A 現場が動きだす大学教育マネジメント 鳥田敏行 (茨城大学) 講義 150名	2401B Power Queryで効率的なデータ処理 高畑貴志 (高知大学) 講義 32名	2401C 新時代に必要英語のスキルを整理しよう! 中山 晃 (愛媛大学) ワーク 30名	2401D 障害のある学生への合理的配慮と修学支援 佐々木銀河 (筑波大学) ワーク・講義 40名	2401E デジタル学修歴証明書を知ろう 鈴木 洋 (芝浦工業大学) ワーク・講義 40名	2401F ケースを通して考える中間管理職入門 小方直幸 (香川大学) 野口里美 (香川大学) 石原卓也 (神戸大学) ワーク 20名
	2 13:00 ~ 15:00 トップリーダーセミナー 2402A 大学教育改革の力学 田中 岳 (岡山大学) 講義 150名	2402B みんなでDXー業務システムを開発しよう 武田啓之 (香川大学) 小寺賢志 (香川大学) 渡部昌尚 (香川大学) ワーク・講義 20名	2402C SD担当になるとき知っておくべき7つの基本 阿部光伸 (愛媛大学) ワーク・講義 30名	2402D テキストマイニング入門 塩川奈々美 (徳島大学) ワーク・講義 30名	2402E 教学マネジメント入門 山咲博昭 (広島市立大学) 荒木俊博 (淑徳大学) ワーク・講義 40名	2402F 大学教育学習センターの開発 吉田 博 (徳島大学) 竹中喜一 (近畿大学) 西野毅朗 (京都橋大学) 杉森公一 (北陸大学) ワーク 20名
	3 15:30 ~ 17:30 シンポジウム 「未来を切り拓く人材の育成」 会場: 南加記念ホール 講師: 西條辰義 (京都先端科学大学)、上月翔太 (愛媛大学)、岡本 剛 (九州大学) コメンテーター: 小方直幸 (香川大学) 進行: 中井俊樹 (愛媛大学) 200名	18:00 ~ 20:00 ポスターセッション 会場: 共通講義棟B CRIー1講義室 ※ミニ交流会の時間を含みます。				

3日目 8月25日(金)	1 10:00 ~ 12:00 2501A 教務が理解しておきたい法令と最新政策動向 宮林常崇 (東京都立大学法人) ワーク・講義 100名	2501B 大学のライティング教育から考える職能開発 蝶 慎一 (香川大学) 講義 120名	2501C 学生の自律性を引き出す授業設計 仲道雅輝 (愛媛大学) ワーク・講義 32名	2501D 大学等の寄付金募集戦略ーはじめの一歩 須山弘一 (島根大学) ワーク・講義 40名	2501E 高等教育の倫理(開発)を考える 関沢和泉 (東日本国際大学) ワーク・講義 36名	2501F 学生支援に関わる教職協働を考える不登校編 杉田郁代 (高知大学) 藤巻 晃 (徳島文理大学) 藤本正己 (山口大学) ワーク・講義 40名
	2 13:00 ~ 15:00 2502A 若手職員向け超入門! 研究者と学術情報流通 井上昌彦 (関西学院大学) 講義 150名	2502B 電子テキスト型コンテンツの制作と授業運用 林 敏浩 (香川大学) 講義 120名	2502C ゲームで考える職員間のギャップ 藤巻 晃 (徳島文理大学) 藤本正己 (山口大学) 石川 尚 (愛媛大学) ワーク 30名	2502D ピア・サポート活動のはじめ方、すすめ方 佐々木菜々 (広島修道大学) ワーク・講義 40名	2502E 大規模授業でアクティブラーニングをしよう 金西計英 (徳島大学) ワーク・講義 40名	2502F FD担当者のためのFD企画講座 吉田 博 (徳島大学) 塩川奈々美 (徳島大学) 上月翔太 (愛媛大学) 杉田郁代 (高知大学) ワーク 20名

ワーク 主にグループワークやペアワーク等を中心としたプログラムです。 講義 主に講義を中心としたプログラムですが、グループワークやペアワーク等が含まれる場合もあります。 ワーク・講義 グループワークと講義を併用したプログラムです。 名 プログラム定員

SPODフォーラム2023 ポスターセッション

番号	テーマ	発表代表者		SPOD 加盟校
		所属	氏名	
1	未来思考リテラシーとは何か	愛媛大学教育・学生支援機構 教育企画室	上月 翔太	○
2	四国地方における大学間連携によるブレFDの可能性	愛媛大学教育・学生支援機構 教育企画室	上月 翔太	○
3	SPOD-FDにおける調査研究の取組と意義	徳島大学高等教育研究センター	吉田 博	○
4	レジデント・アシスタントとの協働を通じた実践的SD	早稲田大学レジデンスセンター	岡崎 成光	
5	卒業研究ループリック作成に向けた研修の設計と実践	近畿大学 I R・教育支援センター	竹中 喜一	
6	学生の自律性を育成する国際交流型PBLプログラム	愛媛大学教育・学生支援機構 教育企画室	仲道 雅輝	○
7	中堅大学におけるジレンマ-学校歴か成績評価か-	愛媛大学教育・学生支援機構 教育企画室	真鍋 亮	○
8	国立大学の情報発信 - 「大学概要」に着目して -	愛媛大学教育・学生支援機構 教育企画室	坂本 規孝	○
9	次世代を切り拓く大学職員の育成検討WGの活動と課題	高知大学学務部学務課	吉岡 瞳	○
10	事務職員対象の業務DXワークショップの成果と課題	山口大学教育・学生支援機構 教学マネジメント室	藤本 正己	
11	学生と職員による業務改善タスクフォース	広島市立大学教育基盤センター	平見 信之	
12	"お手製"ディプロマ・サブリメントの限界と今後の展開	大阪経済大学企画部教学企画課	荒川 崇	
13	アカデミック・アドバイジングガイドラインの開発	新潟大学教育基盤機構	上畠 洋佑	
14	徳島大学生の学習成果を規定する要因の探索的分析	徳島大学高等教育研究センター	飯尾 健	○
15	雇用主アンケートと卒業生アンケートにみる成果と課題	徳島大学高等教育研究センター	塩川 奈々美	○
16	いちだい30年目の挑戦！～ゼロから始める職員研修～	広島市立大学アドミッションセンター 事務局企画室入試グループ	野山 すみれ	
17	新入学生のためのTeams接続支援用オンライン会議	高知大学学び創造センター	高畑 貴志	○
18	大学教職員の協働による研修プログラムの見直しと実践	徳島文理大学 地域連携センター兼総務部総務課	藤巻 晃	○
19	地域との連携で取り組むキャリア教育プロジェクト	愛媛大学教育・学生支援機構 教育企画室	村田 晋也	○
20	香川大学全学共通科目「越境する学問」の挑戦的取組	香川大学大学教育基盤センター	蝶 慎一	○
21	IR情報から課題解決へ：FD・SDの展開へ	香川短期大学生活文化学科・学生支援部	織田 潤二	○
22	不登校学生に対する教職協働による学生支援の実態	高知大学学び創造センター	杉田 郁代	○

ポスターセッション会場等のご案内

(共通講義棟B 1階 C R I - 1 講義室)

◆発表時間

8月24日(木) 18:00~20:00

開会挨拶・事務連絡 18:00~18:05
ポスター全体発表 18:05~18:55
ミニ交流会・優秀ポスター発表 18:55~20:00

以下の時間帯は会場を開放しています。
8月24日(木) 10:00~20:00

投票はこちらから

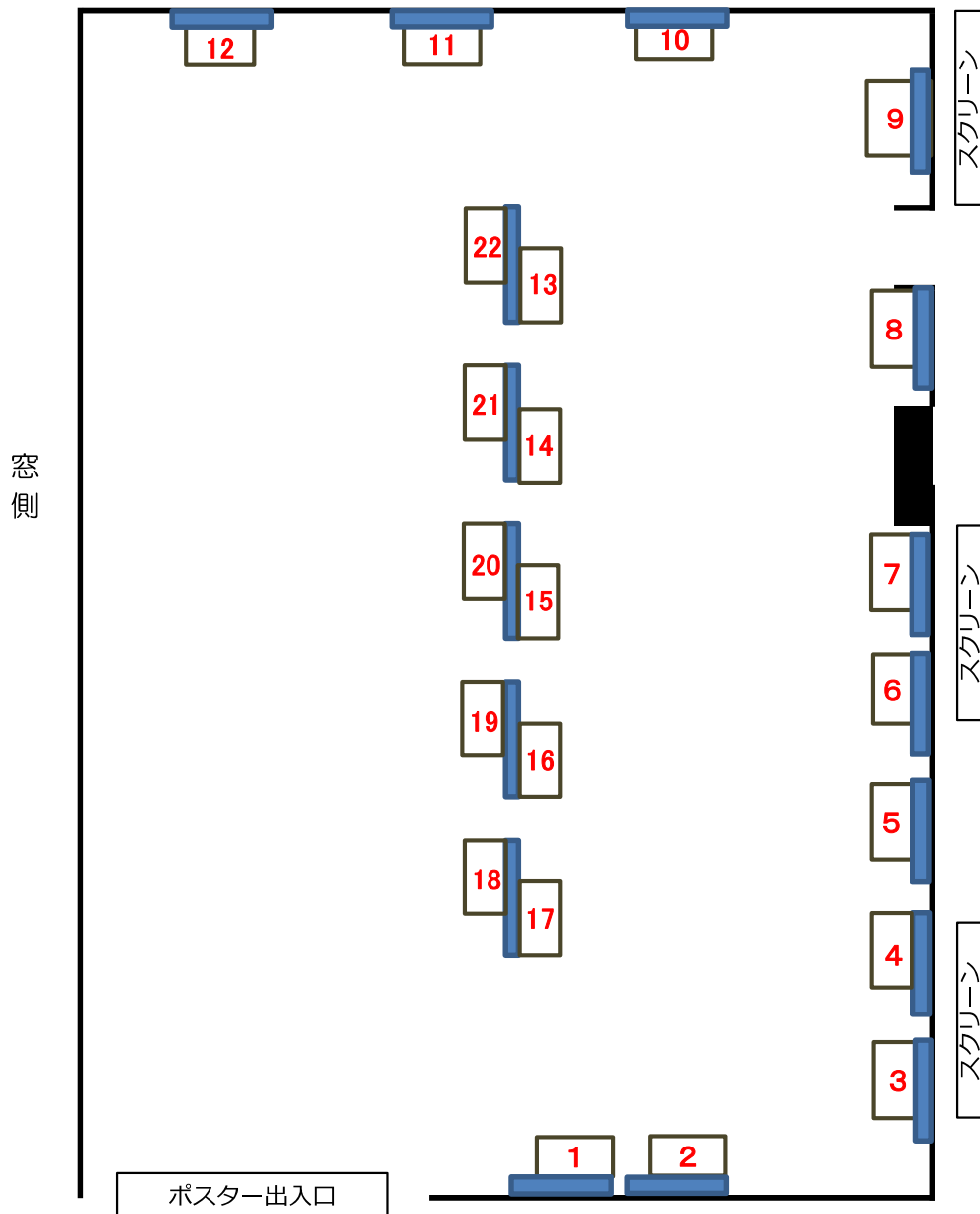
◆優秀ポスター投票期間

8月24日(木) 10:00 ~ 19:00

優秀ポスターは、投票締め切り後に集計し、ミニ交流会後に発表します。



◆会場レイアウト



令和5年度後期のSPODコア運営協議会開催予定について

(第4回)

日時:令和5年10月18日(水) 14:00頃～

場所:香川大学(対面) ※Zoom での参加も可

- 対面参加の場合の旅費はSPODから支給するが、予算の関係上、できるだけ公用車での乗り合わせをお願いしたい。
- 昨年度の事業評価委員会や分科会からの指摘・要望事項に関する対応策を各部会、事務局から報告予定。
- 来年度のSPODフォーラム使用会場の下見の実施、翌日から開催される次世代リーダー養成ゼミナールの見学なども検討。

(第5回) 例年12月頃 オンライン

(第6回) 例年2月頃 オンライン

- 5回目以降の開催日については、事務局から別途日程照会を行う予定。